

## 粋な図柄で好評のクリアファイル ～新しいデザインを販売開始～

河内長野市高向のくろまる館（河内長野市立ふるさと歴史学習館）では、好評を得ていた「紺屋型紙」の図柄をプリントしたクリアファイルに、新デザインを追加した。

今回は色鮮やかな「引札」の図柄もラインナップに加え、河内長野市の生涯学習推進マスコット「くろまるくん」をデザインしたクリアファイルや、紺屋型紙の図柄を刷り込んだ一筆箋も新たに発売する。



クリアファイル6種（写真左）と一筆箋（同右）

新たに販売するクリアファイルは全6種類で、すべてA4サイズ。一筆箋は1種類で50枚綴り。販売価格は、クリアファイルは各150円、一筆箋は200円。下記の市内書店や公共施設などで販売するほか、市役所ふるさと文化課で通信販売も行う。

### 【販売場所】

◎くろまる館（河内長野市立ふるさと歴史学習館）、滝畑ふるさと文化財の森センター、市役所情報センター、市内書店（キャップ書店・松田書店・塔本博文堂・爽智堂書店）、カフェ・ド・くすくす（キックス内）、ラブリーホール、南天苑、八尾市立歴史民俗資料館など

くろまる館では平成23年8月から同館が所蔵する「紺屋型紙」の図柄をプリントしたクリアファイル6種類を販売し、市内だけでなく他府県からも問合せがあるなど好評を得ていた。なお、旧柄のクリアファイルも継続して販売する。

同館は、紺屋型紙は約1600点、引札は約90点所蔵しており、これまで館内展示などを行って、その魅力を発信してきた。河内長野市では型紙や引札を撮影し、高細密なデジタルデータ化して保存するデジタルアーカイブ事業を行い、データの活用を進めている。クリアファイルや一筆箋は、活用の一例として、型紙や引札の魅力をさらに多くの方に知ってもらいたいとの思いで作製した。

※「紺屋型紙」とは、江戸時代から地域にあった染物屋（紺屋）で、主に「河内木綿」などの型染めに用いられた型紙のことで、繊細で美しいデザインが特徴。

※「引札」とは、明治時代に店や商品の宣伝、開店や売り出しの案内のために配られたチラシのことで、絵柄には、松竹梅などめでたいものや、汽車や洋装の男女など当時の世相をうつすものが多く見られる。

※「くろまるくん」は、現在の河内長野市高向出身とされている高向玄理（たかむこのくろまる）にちなんだ「河内長野市生涯学習推進マスコット」。高向玄理は聖徳太子の時代に日本初の国費留学生に選ばれて中国に渡り、帰国後は、国博士に任命され中央政権で新しい国づくりを担った人物。「くろまるくん」は、本市の生涯学習の推進・支援を図るためのマスコットになっている。